



Nippon Professional Baseball Organization

Hp: [www.npb.or.jp](http://www.npb.or.jp)



2014年8月13日  
セントラル野球連盟  
パシフィック野球連盟  
スカパーJSAT株式会社

## 7月度「スカパー！ サヨナラ賞」受賞選手発表

セントラル、パシフィック両リーグが制定する月間「スカパー！サヨナラ賞」(協賛:スカパーJSAT株式会社)の7月度受賞選手が決定いたしました。受賞選手には、スカパーJSAT株式会社よりトロフィーと賞金 30 万円が贈られます。

### ～ セントラル・リーグ 受賞選手 ～

**福留 孝介**  
(阪神タイガース)  
2度目

福留選手は、7月22日(火)甲子園球場で行われた対読売ジャイアンツ14回戦、2対2で迎えた延長12回裏、二死走者なしの場面で右越本塁打を放ちました。阪神は1点を追う6回に一旦は勝ち越したものの、9回表に本塁打で同点とされ、延長戦に入りました。そして引分終了目前の場面で放ったこの一打が、首位攻防3連戦の勝ち越しを決める一打となりました。福留選手の同賞受賞は2013年3・4月度以来、2度目の受賞です。

### ～ パシフィック・リーグ 受賞選手 ～

**斉藤 彰吾**  
(埼玉西武ライオンズ)  
初受賞

斉藤選手は7月2日(水)、西武ドームで行われた北海道日本ハムファイターズ10回戦、2対5で迎えた9回裏、1点を返して2点差とし、なお一死走者2、3塁の場面で、ライトスタンドに逆転サヨナラ3ラン本塁打を放ちました。これが斉藤選手にとってプロ入り7年目での初本塁打でした。埼玉西武ライオンズは、7月はプロ野球タイ記録となる月間5度のサヨナラ勝ちを収めました。斉藤選手のサヨナラ本塁打は、その口火を切る一打となりました。

月間「スカパー！サヨナラ賞」は、月間を通じて最もインパクトのあるサヨナラ打を放った選手に贈られる賞として2012年に制定されました。スカパー！は、2006年シーズンから「プロ野球セ・パ両リーグ公式戦全試合、プレイボールからゲームセットまで放送」(※トップ&リレー、録画放送を含む)を掲げており、「試合終了最後の1球まで真剣勝負をお届けするスカパー！」から多くのファンに、プロ野球中継最大の魅力を伝えることができ、それがプロ野球界発展の一助となると考え、本賞へ協賛しています。また、同様の趣旨のもと2009年シーズンから、レギュラーシーズンを通じて最も劇的なサヨナラ本塁打、またはサヨナラ安打を放った選手に贈られる賞として「スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」を制定しています。



(参考)過去の受賞選手

【月間「スカパー！ サヨナラ賞」】

2012年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	中村 紀洋 (DeNA)	田中 賢介 (日本ハム)
5月度	森野 将彦 (中日)	A.バルディリス (オリックス)
6月度	和田 一浩 (中日)	M.ホフパワー (日本ハム)
7月度	石原 慶幸 (広島)	柘田 慎太郎 (楽天)
8月度	阿部 慎之助 (巨人)	柳田 悠岐 (ソフトバンク)
9月度	新井 良太 (阪神)	松井 稼頭央 (楽天)

2013年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	福留 孝介 (阪神)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
5月度	畠山 和洋 (ヤクルト)	浅村 栄斗 (西武)
6月度	M. マートン (阪神)	高橋 信二 (オリックス)
7月度	丸 佳浩 (広島)	嶋 基宏 (楽天)
8月度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (西武)
9月度	石原 慶幸 (広島)	片岡 治大 (西武)

2014年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	B.エルドレッド (広島)	A.ジョーンズ (楽天)
5月度	梵 英心 (広島)	加藤 翔平 (ロッテ)
6月度	嶺井 博希 (DeNA)	今宮 健太 (ソフトバンク)

【スカパー！ ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞】

受賞年	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
2009年度	亀井 義行 (巨人)	井口 資仁 (ロッテ)
2010年度	天谷 宗一郎 (広島)	小久保 裕紀 (ソフトバンク)
2011年度	長野 久義 (巨人)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
2012年度	和田 一浩 (中日)	中田 翔 (日本ハム)
2013年度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (西武)

以上